

一 般 (個 人) 質 問 通 告 一 覧 表

令和4年第6回笠岡市議会定例会

12月9日・12日・13日(3日間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 栗尾 典子	1 施設一体型 小中一貫教育 校について	<p>教育委員会は、令和8年度から10年度に金浦中学校区、新吉中学校区、神島外中学校区で施設一体型小中一貫教育校を開校予定としている。これは決定していることなのかを改めて尋ねる。</p> <p>(1) 小中一貫教育校のパンフレットには「予定」とあるが、これは決定事項なのか。</p> <p>(2) 一体型を一部で行えば、分離型に通学する生徒や教諭に不公平、不平等が起こるのではないか。</p> <p>(3) 各校の開校時の生徒数と学級数、10年後の予想生徒数と学級数はどうなっているのか。</p> <p>(4) 中学校区の見直しは行わないのか。</p> <p>(5) 小北中学校は矢掛町との組合で行っているが、笠岡市が行う小中一貫教育との整合性は取れているのか。</p> <p>また、新吉中学校区の計画の中で北川小学校、小北中学校が入っていないがどうするのか。</p> <p>(6) 笠岡市の今後の予想生徒数に対して、教育委員会は何を課題と考えているのか。</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	2 福祉行政に ついて	<p>(1) これまで国も地方行政も社会変化に対応するため、疾病や障害・介護、出産・子育てなどの公的支援制度は対象者ごとの「縦割り」で整備、充実が図られてきた経緯がある。しかし、昨今、個人や世帯単位で複数の課題を抱え、複合的な支援を必要とする状況が見受けられる。</p>	

		<p>地域共生社会の実現に向けて「縦割り」ではなく、包括的な支援を目指して、包括ケア推進室ができ、包括支援センターが特に高齢者の支援に当たっている。</p> <p>しかし、今もって高齢者，児童，障害者など縦割りのままであり、「丸ごと」への転換が求められるところである。これらを解消するための笠岡市の取組について尋ねる。</p> <p>(ア) 地域における，多様な支援ニーズや課題を包括的に対応するための現在の取組と今後について</p> <p>(イ) 情報共有による取組はどこまでできているのか。</p> <p>(ウ) 対象者ごとの公的福祉サービスを提供する，専門人材を確保することが難しくなっているといわれるが，笠岡市の現状と今後について</p> <p>(2) 全ての市民が健康を増進するための取組も重要である。現在，笠岡市が行っている健康ポイント事業があるが，その効果と評価の仕方を尋ねる。</p> <p>(3) コロナ禍で健康への意識が高まる中，ワクチン接種に対しての様々な不安や関心も高まっている。現在，笠岡市が行っているワクチン接種について，補助金も含めその内容を尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>
2 仁科 文秀	1 子供，子育てに関する問題について	<p>少子化が急速に進展する中，国や岡山県も来年度から子供に重点を置いた政策にかじを切り，今まで以上に力を入れていこうとしている。国は「こども家庭庁」を新設し，子供関連予算の倍増を計画している。県では，保健福祉部を「保健医療部」と「子ども・福祉部」(共に仮称)に分割する方針を発表した。</p>	

		<p>笠岡市においても、子供、子育てを最重視する政策を推進していただきたい。</p> <p>(1) 笠岡市における、今年度4月から10月までの出生数と対前年度比、並びに出生数を増やすための対策を尋ねる。</p> <p>(2) 子ども医療費について、井笠圏域の市町が全て実施しているように、入院だけでなく通院も高校卒業まで無料にすべきだと思うが、考えを尋ねる。</p> <p>(3) 対費用効果の点からも、議員や市民の多くが賛成していない美の浜の商業施設への子育てステーション設置にこだわり続けるのはなぜか、尋ねる。</p> <p>(4) 議会では、笠岡市に対し定期的に政策提言を行っている。</p> <p>子育ての環境整備については、保護者の声や先進地の調査から、「小児医療体制の基盤整備＝特に夜間や休日の対応」、「育児への負担軽減策の推進＝一時預かり事業等の制度対象の拡大、運用の見直し、事業者への財政・人材支援」について提言し、要望した。</p> <p>これらの点について、本市の考えと今後の取組を尋ねる。</p> <p>(5) 急激な少子化が進み、笠岡市民間保育所協議会は、各保育施設の経営努力だけでは対応できない事態に直面していることを訴えている。</p> <p>(ア) 提出された要望にどう応えていくのか、尋ねる。</p> <p>(イ) 少子化の進展で入園児童の確保が厳しくなる中、市外からも入園できるよう「笠岡市広域保育実施要綱」の改定はできないか、尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>〃</p>
--	--	---	---

<p>3 大本 邦光</p>	<p>1 高齢者ドライバーの事故防止について</p>	<p>最近、高齢者ドライバーが関係する交通事故のニュースが連日のように報道され、大きな社会問題となっています。</p> <p>運動、認知機能の低下に伴う誤操作によるもののほか、高速道路の逆走や歩道での走行等、これまでに考えられないような事例が発生しており、交通安全対策が喫緊の課題となっています。</p> <p>国立長寿医療研究センターの調査では、高齢者の63%が運転を実施しており、特に男性は86%が運転しており、また、運転をされている高齢者の約半数以上が毎日運転をされているという結果も出ています。</p> <p>一方、交通事故の発生状況を見ますと、交通事故の発生件数自体は減少しておりますが、相対的に高齢者の事故の割合が増加しています。この背景には、認知症高齢者の危険運転による重大な交通事故がありますが、認知症の疑いのある方のうち、約40%が運転を継続しているという調査結果もあります。</p> <p>(1) 高齢者ドライバーの自動車免許保有者数並びに過去5年間における本市の高齢者自動車運転による交通事故発生件数の推移についてお尋ねします。</p> <p>(2) 高齢化率の上昇に伴い、高齢ドライバー数は近年著しく増加し、75歳以上の高齢者に限っては約583万人が免許を保有しています。</p> <p>そこで、認知症が原因と思われる交通事故について市の認識をお尋ねします。</p> <p>(3) 改正道路交通法の施行に伴う運転免許証の自主返納における本市の取組についてお尋ねします。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
----------------	----------------------------	--	-------------------------------

	<p>2 ワクチン接種の呼びかけ強化について</p>	<p>新型コロナウイルスの感染「第8波」の懸念が強まっています。政府は、第7波と同じかそれを上回る感染状況では、知事が「対策強化宣言」を出せるとする新たな方針を決めました。また、政府は国民への情報発信に努め、感染予防策に関する呼びかけを強める必要があります。</p> <p>まず重要なのはワクチンの接種促進であります。11月時点での接種率は、1回目が全人口の81.4%、2回目が80.4%なのに対し、3回目は66.5%にとどまっています。</p> <p>ワクチンの効果は時間の経過とともに低下するため、感染予防や重症化予防には追加接種が必要不可欠となります。</p> <p>(1) 本市における現時点の1回目から5回目までの年齢区分別ワクチン接種状況についてお尋ねします。</p> <p>(2) 笠岡市独自の接種率向上に向けた市民周知並びに取組と、本市の目標ワクチン接種率についてお尋ねします。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>
<p>4 齋藤 一信</p>	<p>1 笠岡市の高齢者の孤立化について</p>	<p>(1) 今後も増加が見込まれる高齢者単身世帯の孤立は、深刻な社会的課題です。</p> <p>他市と比較して高齢化率の高い笠岡市では大幅な対策の強化を図る必要があると思いますが、笠岡市の御認識を伺います。</p> <p>(2) 生活保護受給高齢者の単身世帯に対するケアは、重要度を増していくと考えます。</p> <p>今後、担当部署の一層の体制強化はもとより、より一層の支援を講じていくため、対象者への生活習慣等の調査を実施すべきと考えますが、市の御所見をお聞かせください。</p> <p>(3) 市営住宅の入居者の高齢者や単身者の構成割合について、実態はどのような状況でしょうか。お尋ねします。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

	<p>2 市営住宅について</p>	<p>(4) 市営住宅の高齢者や単身者についても、生活習慣等の調査と支援を実施することで、今後の増加が見込まれる高齢者単身世帯への支援モデルとなるように思います。</p> <p>モデル事業としての調査等について御所見をお聞かせください。</p> <p>(1) 市営住宅での、健康で文化的な最低限度の生活についてお尋ねします。</p> <p>市営住宅で浴槽等が設置されていない世帯はあるのでしょうか。実態を把握されていればお示しください。</p> <p>(2) 市営住宅の浴槽の設置は、新たに入居する方にとって大きな費用負担となっています。</p> <p>市による浴槽の設置が可能にならないでしょうか。市の考えをお示しください。</p> <p>(3) 今後、解体が予定されている市営住宅(新たな入居募集を行わない団地)について、退去者への庭などへの建築物などの撤去義務、現状復帰義務についての考えをお示しください。</p>	<p>関係部長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p>5 山本 聡</p>	<p>1 かさおかブランドの推進に向けて</p>	<p>「住んでよかった」、「選ばれるまち笠岡」を目指す笠岡市は、風光明媚な瀬戸内海に浮かぶ島々や広大な農業干拓地など、美しい自然と豊富な資源を有しています。また、古くから門前町として栄え、伝統と文化があふれる歴史の町でもあります。</p> <p>「かさおかブランド」とは、この恵まれた環境と風土の中で育まれたもので、笠岡ならではの魅力あふれるものであり、優れた素材・技術を生かした高い品質をもつものです。人口減少社会を踏まえて、地域創生を成し遂げ、市の活性化を目指す創生総合戦略の基本目標を担うものです。(市のHPより)</p>	

		<p>(1) 「かさおかブランド」の仕組と体系を尋ねる。</p> <p>(2) 製品やセグメントを超えた、かさおかのブランドとしての価値をどのように考えているか尋ねる。</p> <p>(3) 笠岡ブランドを育成管理する組織について尋ねる。</p> <p>(4) 将来のために、ブランド構築を行っていく動機付けがあるか尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	2 地域の再生 (働き方の多様性)について	<p>多死社会が到来して、少子高齢化が一段と進む中、コロナ禍もあって地方への移住熱が高まってきた半面、過疎地では人手不足(担い手不足)に直面している。</p> <p>(1) マルチワークを可能にする「特定地域づくり推進法」が2020年に施行されているが、本市として取り組む予定があるか尋ねる。</p> <p>(2) 人への投資が魅力あるまちづくりの要諦と考えるが、「人材育成方針」、「職場内環境整備方針」をどのように捉えているか尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>市 長</p>
	3 旧市街地 (市役所周辺)の利活用について	<p>来春、笠岡小学校と今井小学校が統合するなど、人口減少に備えたソフト、ハード面のコンパクト化が進展する中で、市役所周辺をより有効活用するための都市計画を進める構想があるか尋ねる。</p>	<p>市 長</p>
6 真鍋 陽子	1 認定子ども園、幼稚園、学校における保育と教育について	<p>(1) 登園・降園・登下校時、活動中・授業中、給食中におけるマスクの着用について、どのように指導しているのかを尋ねる。</p> <p>(2) 令和3年12月10日、本市でオーガニック食材を初めて給食に使用、その後、令和4年3月定例会個人質問において尋ねた際「令和4年度においても実態に合わせ、より農薬が使われていないもの、産地もできるだけ笠岡産、岡山県産食材を利用していき</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>

		<p>たい。</p> <p>また、自校調理をしている島しょ部の給食で可能か検討していく」とのことであった。その後の進捗状況を尋ねる。</p> <p>(3) 令和4年7月1日、みどりの食料システム法が施行された。現在、来年度に向け、農林水産省、文部科学省から自治体に対する支援メニューが提示されている。</p> <p>来年度、本市においてはどのような取組を考えているのかを尋ねる。</p>	<p>関係部長</p>
	<p>2 支援が必要な子供たちについて</p>	<p>(1) 高梁川流域障がい児保護者支援事業「相談支援ファイル」活用研修が10月、11月にわたり3回開かれ、笠岡市からも職員が参加している。</p> <p>研修により得られた知識をいかに笠岡市内で生かすことができるかを尋ねる。</p> <p>(2) 笠岡市相談支援ファイル「かけはし」の在庫数を尋ねる。</p> <p>(3) 災害時支援計画を組み込むなど、より今の社会状況に沿った内容となるよう「かけはし」をリニューアルする時期にきているのではないか。見解を尋ねる。</p> <p>(4) 笠岡市特別支援教育推進委員会において、現在、協議されている内容について尋ねる。</p> <p>(5) 笠岡市特別支援教育推進委員会において協議された内容について、具体的に実施されているものがあるのかを尋ねる。</p> <p>(6) 令和4年11月20日、自閉症児の教育をテーマにした講演会「心を育てる育児と教育」が笠岡市主催で行われ、講師である笠岡市御出身、河島淳子先生が開設した「トモニ療育センター」開発教材の展示なども行われた。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>教育長及び関係部長</p>

		<p>講演内容及びその教材についてなど、所見を尋ねる。</p> <p>(7) 笠岡市における令和4年11月末現在の不登校状態にある生徒数を尋ねる。</p> <p>(8) 不登校になった生徒に対する具体的な支援策の現状を尋ねる。</p> <p>(9) 不登校になった生徒が部活だけ参加したい意思がある時、参加は可能かを尋ねる。</p> <p>(10) 不登校になった子供たちに通いの場を提供し、将来的に自立ができるよう、フリースクールを利用する子供の保護者に対し、補助を交付する考えはあるかを尋ねる。</p> <p>(11) 厚生労働省ホームページによれば、ヤングケアラーとは「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」と説明している。だが、今現在、具体的にどの程度を指すのかは明記されておらず、法令上の定義もない。</p> <p>愛媛県が2022年度に初めて行った独自実態調査では、小学生は10.4%、中学生は4%、全日制高校は2.3%が「世話をしている家族がいる」と回答、政府による20、21年度の調査結果の6.5%、5.7%、4.1%と比べ、小学生は割合がより大きく、一定の子供が家族のケアをしている実態が明らかとなった。本市におけるヤングケアラーの人数、具体的な支援体制について尋ねる。</p> <p>(12) 2021年9月18日、医療的ケア児支援法が可決された。この法律により国や地方公共団体は医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を実施する責務を負うこととなっている。</p> <p>笠岡市における医療的ケア児童の人数、具体的な支援体制について尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>教育長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>
--	--	--	---

	3 笠岡市内における環境整備について	市制施行 70 周年を迎えた本市であるが、市庁舎において、ぼろぼろになっているブラインドや、市内各地において文字の薄れた看板が放置されている実態があり、市外の方に対する印象への懸念はもちろん、市民からも苦情が届いている。今後、整備する予定はあるのかを尋ねる。	市 長
7 原田 てつよ	<p>1 休校となっている島しょ部の小中学校の今後について</p> <p>2 笠岡市主催のイベント、講演会等への申込み後の取扱いについて</p>	<p>現在、島しょ部の小中学校は、六島小学校 3 年生 1 名、北木小学校 2 年生 1 名、3 年生 2 名、4 年生 1 名、6 年生 1 名計 5 名、真鍋中学校 1 年生 2 名、3 年生 2 名の計 4 名という状況であり、白石小学校が令和元年度から、真鍋小学校、北木中学校、白石中学校が令和 4 年度から休校となっています。</p> <p>(1) 令和 2 年 3 月に改訂された笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画の児童・生徒数の推移と、統合の現状に微妙な差があります。</p> <p>僅かな人数ではあるが増えている小学校もある中、現在休校であっても、地域、保護者の要望によっては開校の可能性もあるのか、お考えをお尋ねいたします。</p> <p>(2) 休校中の校舎についての利活用を検討する時期はいつになるのか、特に、真鍋島の中学校校舎は、危険性が高いとして、中学生が小学校の校舎を利用して授業を行っている現状があります。今後の計画についてお尋ねいたします。</p> <p>コロナ禍の中で開催を中止していたイベント、講演会が再開され、本年は市制 70 周年を記念してのイベント、講演会が数々開催されています。</p> <p>市主催の申込みを必要とする講演会等において、メールで申し込まれた方に対する受付を完了した旨の連絡について、担当課によって対応</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p>

		<p>が異なり，申し込みをされた方に受付完了の連絡がされていない場合があると聞いています。</p> <p>また，講演会等があったことも知らなかった，知っていれば行きたかったとの声もお聞きします。</p> <p>開催時の広報の方法と受付決定の方法をどのようにしているのか，お尋ねいたします。</p>	
8 藤井 義明	<p>1 小中一貫教育について</p> <p>2 笠岡市情報管理適正化委員会について</p>	<p>(1) 金浦中学校ブロック施設一体型小中一貫教育校開設の目的を尋ねる。</p> <p>(2) 小中学校統合の目的は何か尋ねる。</p> <p>(3) 金浦中学校ブロックが選ばれた理由を尋ねる。また，今後のスケジュールについて尋ねる。</p> <p>(4) 城見小学校の廃校は決定事項か尋ねる。</p> <p>(1) 情報管理適正化委員会設立の目的について尋ねる。</p> <p>(2) 主宰者，招集者，進行者は誰か，また，役割及び権限を尋ねる。</p> <p>(3) 会議については，公開するのか尋ねる。</p> <p>(4) 「適切に情報共有を行う」とあり，連絡体制を説明されたが，情報管理適正委員会は連絡体制にどのように関わるのか尋ねる。</p> <p>(5) 市議会，報道機関への情報提供を行う内容について，最終決定を行うのはどの会議で，責任者は誰か尋ねる。</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>